

美手連 NEWS RELEASE

2018年10月25日

今年も10月31日、大津川河口で実施します！ ナガエツルノゲイトウ&オオバナミズキンバイ群落の駆除

報道関係各位

ここ数年、手賀沼や流入河川で爆発的に殖えている外来水生植物ナガエツルノゲイトウとオオバナミズキンバイ。美しい手賀沼を愛する市民の連合会(通称、美手連)では、2016年より千葉県柏土木事務所、柏建設業会ほかの皆様のご協力を得て、外来水生植物の駆除を行ってきましたが、今年も10月31日、手賀沼に流入する大津川河口において、外来水生植物群落の駆除を行います。

各報道機関におかれましては、時間的に差し迫ってからのご案内につき誠に恐縮ですが、この件につきご取材いただき、広く周知していただけますようお願い申し上げます。

美しい手賀沼を愛する市民の連合会 会長 八鍬雅子



(写真はいずれも2017年我孫子新田での駆除のようす)

記

【手賀沼外来水生植物群落駆除 2018】

- 日時／2018年10月31日(水) 8:45～12:00頃
- 場所／手賀沼自然ふれあい緑道(遊歩道)にかかるヒドリ橋付近(大津川河口)
- 内容／外来水生植物ナガエツルノゲイトウとオオバナミズキンバイの群落の駆除
 - ・ヒドリ橋の上から駆除の様子をご覧ください。
 - ・駐車場(約20台)はヒドリ橋すぐ近くにあります。大津川にかかる橋で自動車が通行できる最も沼に近い橋(大津川橋)から手賀沼方向に走ってすぐの左側に「手賀沼自然ふれあい緑道」の看板が立つ畦道がありますが、その奥に駐車場があります。※ヒドリ橋は遊歩道の橋なので、自動車の通行できません。
- 主催／美しい手賀沼を愛する市民の連合会、柏建設業会
- 後援／千葉県柏土木事務所、柏市役所
- この件についての問合せ先／美しい手賀沼を愛する市民の連合会(☎090-5217-6699 八鍬)
- ◆添付資料／①手賀沼における外来水生植物のこれまでの推移と今年の状況
②世界湖沼会議 2018(10/15～10/19)での美手連の発表要旨



以上

(資料 1)

手賀沼における外来水生植物のこれまでの推移と今年の状況
(ナガエツルノゲイトウとオオバナミズキンバイ)

- 1998年 手賀沼流入河川の亀成川の水田水路でナガエツルノゲイトウ初確認。
- 2002年 ナガエツルノゲイトウ水田水路より亀成川に侵入(推測)。
- 2007年 手賀沼全域に広がる。
- 2012年 定着確認地点が急増。
- 2013年 爆発的に増殖。手賀沼公園先のボート店棧橋に流着し、ボートの航行を阻害。
- 2014年～2017年 美手連が千葉県土木事務所の協力を得て、千葉県河川海岸アダプトプログラムの認可を受け、ナガエツルノゲイトウ遮光実験を実施(上記ボート店棧橋)。
- 2016年 美手連が千葉県土木事務所、柏建設業会との協働、柏市の協力でも重機による駆除を実施(11月)。田んぼのナガエツルノゲイトウ実態調査も実施。
- 2017年 手賀沼および流入河川でのナガエツルノゲイトウの繁茂が最大級に。
6月 ボート店棧橋で見慣れない植物を確認、オオバナミズキンバイと同定。
8月 オオバナミズキンバイの駆除を実施。初期駆除に成功したと安心。同日、植物調査を行っていたコンサル会社が若松の植生帯でオオバナミズキンバイを確認。
9月 オオバナミズキンバイがじつは手賀沼の西側全域に広がっていることを確認。
10月 手賀沼の水が利根川に注ぐ手賀沼排水機場のスクリーンが流着した外来植物群落で埋まり、土地改良区が4日間の除去作業を実施。経費は推定100万円。
11月 美手連が琵琶湖の外来水生植物対策担当官や霞ヶ浦で駆除を行った河川事務所の担当者らを招き、勉強会実施(15日)。翌日、我孫子新田で、千葉県柏土木事務所、我孫子建設業会、我孫子市手賀沼課などと協働で第2回外来水生植物駆除を実施(16日)。
- 2018年 2月 美手連が実態調査。北千葉導水第2機場前の大群落が枯れて流下しているのを確認。
3月 手賀沼流域フォーラム(事務局/美手連)が第1回外来水生植物駆除体験講座を実施。10名が駆除ボランティアとして登録。
3月 手賀沼水環境保全協議会が手賀沼水循環回復行動計画に外来水生植物対策を盛り込む。
9月 手賀沼流域フォーラムが第2回外来水生植物駆除体験講座を開催。9名が駆除ボランティアとして登録。
10月31日 第3回外来水生植物駆除を予定。



写真:駆除予定地(大津川河口、ヒドリ橋より下流の左右岸)
※駆除を予定しているのは写真の手前側、ヒドリ橋に近い部分です。